2025年度 第2回建設業景況調査

北海道建設業信用保証株式会社 2025年10月

1. 調查目的

・北海道の建設企業の経営動向の調査を行い、建設業のおかれている状況を総合的に迅速かつ的確に把握することを目的としています。

2. 調査時期

毎年3、6、9、12月。

3. 調査対象

・当社と取引関係にある建設企業の中から、地区別、業種別、規模別の分布状況を考慮して、建設業の経営動向を反映するに足りると認められる企業を対象としています。

なお、調査対象企業は原則として固定しています。

4. B. S. I. とは

- ・景気の先行きをみる上で、企業経営者の意識調査を行うことがあります。この建設業景況調査は、景気等に関して個々の建設業者の意 識調査を行ったものです。そして、この意識調査の結果を数値化して表したものがB.S.I.(ビジネス・サーベイ・インデックス= 景況判断指数)です。
- B. S. I. は以下の方法により求められます。

景況調査集計				B. S. I. 集計			
良			い	山		1.5	
Þ	や	良	いく	尺		۷,	
変		ら		変	ら	ず	
Þ	や	悪	٧١	ж		1. \	
悪			い	艳		ν,	

回答企業構成比を、左表のように景況調査集計から B. S. I. 集計に置き換えて、以下の式により算出します。

B. S. I. = (「良い」と回答した企業割合- 「悪い」と回答した企業割合) ×1/2

概観

〇地元建設業界の景気(B.S.I.値)は、前期比で1.5ポイントマイナスとなり、「悪い」傾向が続いている。

・地区別でみると、道南と道東は「悪い」傾向がやや強まり、道央、札幌圏、道北は「悪い」傾向が続いている。

〇受注総額(B.S.I.値)は、前期と同じ値となり、「減少」傾向が続いている。

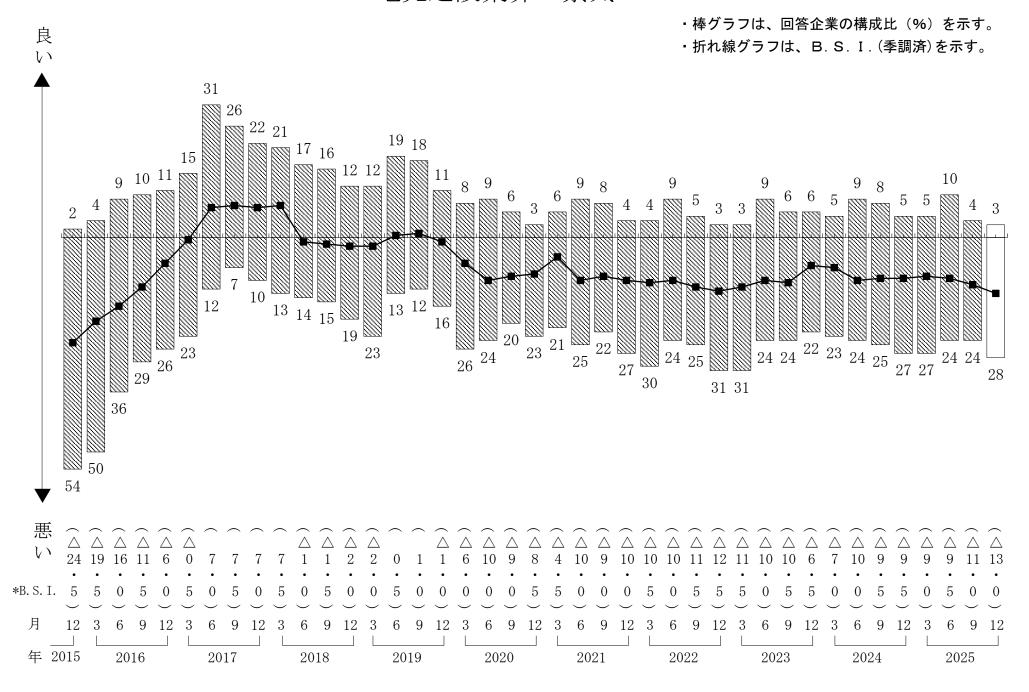
・地区別でみると、道南は「減少」傾向に転じ、札幌圏は「減少」傾向が弱まり、道央は「減少」傾向が強まっている。

【今期:前期(2025年 4~6月)に比べた今期(2025年 7~9月)の状況】 【来期:今期(2025年 7~9月)に比べた来期(2025年10~12月)の状況】

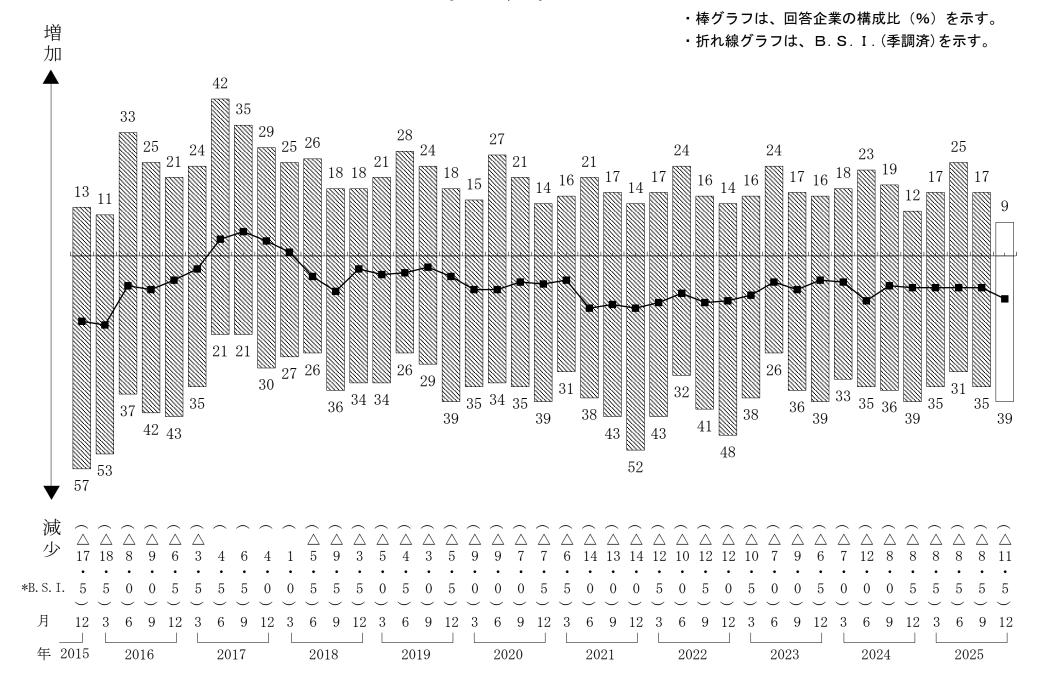
	項	目	2024/12 B.S.I.値	2025/3 B.S.I.値	2025/6 (前期) B.S.I.値	2025/9 (今期) B.S.I.値	前期比	2025/12 (来期) B.S.I.値	今期比
(1) 業 況 等	地	元建設業界の景気	▲ 9.5	4 9.0	▲ 9.5	▲ 11.0	▲ 1.5	▲ 13.0	▲ 2.0
(2) 受 注	受	注 総 額	▲ 8.5	▲ 8.5	▲ 8.5	▲ 8.5	0.0	▲ 11.5	▲ 3.0
		官 公 庁 工 事	▲ 10.0	▲ 10.5	▲ 10.0	▲ 9.0	1.0	1 4.0	▲ 5.0
		民 間 工 事	▲ 5.0	▲ 7.0	▲ 7.5	▲ 9.0	▲ 1.5	▲ 10.0	▲ 1.0
(3) 資金繰り	資	金繰り	4.0	3.0	3.5	3.5	0.0	1.0	▲ 2.5
(4) 金 融	銀	行 等 貸 出 傾 向	9.0	7.5	8.0	7.5	▲ 0.5	7.0	▲ 0.5
	短	期 借 入 金	3.5	3.5	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0
	短	期 借 入 金 利	18.0	21.5	20.5	16.0	▲ 4.5	15.0	▲ 1.0
(5) 資 材	資	材 の 調 達	▲ 4.5	▲ 4.5	▲ 5.5	▲ 5.0	0.5	▲ 6.0	▲ 1.0
(3) 貝 17	資	材 価 格	29.0	30.5	31.5	27.5	4 .0	27.5	0.0
(6) 労 務	建	設 労 働 者 の 確 保	▲ 25.0	▲ 27.0	▲ 25.0	▲ 24.5	0.5	▲ 26.5	▲ 2.0
(0) 対 物	建	設労働者の賃金	28.5	28.0	34.0	28.5	▲ 5.5	26.0	▲ 2.5
(7) 収 益			▲ 10.5	▲ 12.5	▲ 10.5	▲ 9.5	1.0	▲ 14.5	▲ 5.0

注) B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。 B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降等の傾向を示す。 B.S.I.値は、季節調整により前回調査時と異なる場合がある。

地元建設業界の景気



受注総額



資金繰り

